

平成30年度学校評価報告書

平成31年3月26日

1 本年度の重点目標

- 1 自ら考え、学び続ける意欲・態度を育て、個性の伸長を図る。
- 2 基礎的・基本的な内容を重視するとともに、専門性の深化を図る。
- 3 生徒理解を深め、規律正しい生活習慣の育成を図る。
- 4 特別活動を活発化し、自主的、実践的な態度を培う。
- 5 職業人としての、正しい職業観・勤労観を培う。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	○基礎学力の向上を目指すとともに実際の・体験的な学習を通し、知識と技術を着実に習得するため、学習指導法・評価方法についての外部研修会の情報共有や校内研修を積極的にする必要がある。	○自ら考え、学ぶ意欲・態度を喚起するような学習指導や正しい職業観・勤労観を培う教育活動の充実を期待する。
改善方策	○観点別評価の研究や授業評価により、学習の成果を的確に捉え、教員が指導の改善を図るとともに生徒の学習習慣の確立を進める。 ○新学習指導要領の趣旨を踏まえた研修を充実させ、新教育課程編成に努める。	
生徒指導	○基本的生活習慣やマナー・礼儀に対する指導が充実し、地域からの理解と評価が得られている。	○生徒一人一人にきめ細かな生徒指導、部活動等の活発化を通じた自主自律の精神を培う教育活動が十分に行われている。
改善方策	○外部講師を活用した「ネットトラブル未然防止」等の講演を行い、インターネットや携帯電話の利用マナー等の指導を強化する。 ○教育相談や個人面談等の充実に向け、教員研修を工夫・改善し個別対応を含めた生徒指導の充実に努める。	
進路指導	○生徒一人一人が個性を生かし、自主的に進路を選択する能力を身につける継続的な指導及び進路意識の高揚を図る活動を推進する。	○将来の社会的自立を促す教育活動や進路実現に係る様々な情報・資料の収集や提供が適切に行われている。
改善方策	○進路保護者説明会や三者面談、三者面談等の実施方法を工夫し、保護者との連携を強化することで生徒の多様な進路希望に応じた進路指導の充実に努める。	
公表方法	○学校評議員、学校職員へ学校評価集計結果の報告と文書を配付 ○学校ホームページに学校評価集計結果を掲載	